

朝夕の風にわずかに秋の涼しさを感じる季節となりましたが、日中はまだまだ厳しい残暑が続いております。皆様におかれましてはお変わりありませんでしょうか。夏の疲れが出やすく、子どもたちの体調変化にもより一層気を配る時期ですね。さて、今月も小児科通信9月号をお届けいたします。

今号でも、日々の臨床現場でのトピックスや、それぞれの目標に向かって切磋琢磨する医局員たちの様子をたっぷりと詰め込みました。季節の変わり目、どうぞご自愛いただきつつごゆっくりご覧ください。

～8月の医局行事報告～

発表された先生方、お疲れ様でした！！

8月23日 第73回九州学校保健学会

8月23日に第73回九州学校保健学会が、**深野玲司教授**を大会長として、「子どもの“サイン”を支援へ～見えないSOSを学校・医療・地域で支える～」というテーマで開催されました。当教室からは以下の先生方が口演発表をされました。

- **白山理恵先生**：「北九州市における小中学校を対象とした月経教育・相談についてのアンケート調査」
- **多久葵先生**：「北九州市における保育施設および養育者の幼児期やせに対する認識と体格評価の実態－啓発活動に向けたアンケート調査－」
- **山本幸代先生**：「成長曲線から「気づく」ために～学校健診における発育評価と疾患、生活習慣、養育環境の視点～」



～8月の小児科病棟の様子～

8月27、28日 小児科病棟夏祭り

8月27日と28日の2日間、小児科病棟が活気あふれるお祭り会場に変身しました！

今年の目玉は、なんといっても入院中の子どもたちが丹精込めて作り上げた「手作り屋台」です。画用紙や折り紙で作られたカラフルな「かき氷」、思わずお腹が空いてしまいそうな「チキン」や「たこ焼き」など、個性豊かな力作がずらりと並びました。

「いらっしゃいませ！」という元気な声とともに、子どもたちが店員さんになりきって屋台を切り盛りし、病棟中が明るい笑顔と笑い声に包まれました。大盛況のうちに幕を閉じた夏祭り、大成功でした！



～9 月開催予定の学会等～

9 月 5、6 日 小児科専門医試験（京都市）

いよいよ、京都市にて小児科専門医試験が実施されます。当教室からは、大内田史織先生と山口定信先生のお二人がこの大一番に臨まれます。医局員一同、心より応援しております！

9 月 12 日 第 534 回小児科学会福岡地方会（福大メディカルホール）

今月の地方会では、徳永希望先生が「進行する四肢の脱力から CO2 ナルコーシスを来した脊髄梗塞の一例」、石川晋太郎先生が「血友病患者における筋肉内出血 10 例 22 回の後方視的検討」という演題でそれぞれ発表予定です。素晴らしい発表となることを期待しております！

9 月 14 日 小児科クリニカルカンファレンス（産業医科大学 2 号館 3 階 2305 教室 + ZOOM）

北九州市立八幡病院で小児救急を長らく担われ、現在、本学救急・集中治療科に所属されている福政宏司先生に「小児集中治療の"当たり前"-成人 ICU との違いから見てくるもの」をテーマにご講演いただきます。貴重な学びの場となりますので、皆様奮ってご参加ください。

～医局員からのメッセージ～

刈茅桃子先生（2024 年卒）

医師 3 年目の刈茅桃子と申します。熊本大学を卒業後、北九州総合病院で初期研修を行い、産業医科大学病院小児科に入局いたしました。名字は"かるかや"と読みます。実家は久留米市の巨峰農家で、原稿を書いている 8 月～9 月は収穫の時期を迎えています！

病棟(B 班)からローテーションを開始し、現在は NICU をローテーション中です。初めて経験することばかりの日々ですが、上級医の先生方の丁寧なご指導のおかげで、楽しく、学びの多い毎日を送っています。

まだまだ未熟ではありますが、子どもたちとご家族の力になれるよう、日々精進してまいります。何卒よろしくお願いいたします。

菅野志保先生（2024 年卒）

医師 3 年目、小児科 1 年目の菅野志保です。北九州市出身で、産業医科大学卒業後は北九州総合病院で初期研修を行いました。初期研修を経て、子どもを診ることのやりがいに魅力を感じ、小児科に進みました。特に集中治療の分野に興味があります。4 月から 7 月は NICU で、8 月からは B チームで、優しい先生方に丁寧にご指導いただきながら、日々とても楽しく働いています。勉強不足で未熟な点も多く、ご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、一生懸命頑張ります！よろしくお願いします。

小児科通信に関してご意見や感想があれば眞鍋（mnbtoshi7663@med.uoeh-u.ac.jp）までご連絡ください。 ～次号もお楽しみに～